

徳大卒業生 就職活動体験記

名前：美玲

(ビレイ)

出身：中国

学歴：徳島大学大学院 創成科学研究科 地域創成専攻
(2023年度 修了予定)

会社：株式会社ジャパンディスプレイ (東京)

仕事内容：未定 (研修後に決定)



(1) 私が日本企業に就職しようと思ったきっかけは？

私が日本での就職を目指すようになったきっかけは、母国の大学時代の体験に根ざしています。日本での滞在経験豊富な先生たちから、日本の社会、文化、技術に関する話を頻繁に耳にしました。特に、日本の清潔さ、秩序正しさ、そして製造業の精密さは、私の心を捉えました。中でも、日本の働き方やビジネス文化についてのエピソードは特に印象的で、日本での具体的な将来像を描くきっかけとなりました。卒業して日本に留学した後、実際に日本の生活を経験し、母国で聞いた話が現実であることを実感しました。留学中に日本での生活に深い愛情を感じるようになり、この地での長期的なキャリアを築くことが新たな目標となりました。そして、日本で働くことが私にとって大きな意味を持つようになり、この国で就職することを心から望むようになったのです。

(2) 就活で苦労したこと&成功したポイント：

最大の挑戦は、面接への対応でした。文化の違いはもちろん、面接対策の不足が原因で、何度も不合格になりました。しかし、先生方の手厚いサポートにより、エントリーシートの作成から面接練習まで細やかな指導を受けることができ、大きな進歩を遂げました。

私が最終的に希望企業の面接を突破したのは、面接官との円滑なコミュニケーションができるようになったからです。面接官の質問を正確に理解し、それに応じた適切な回答を行うことで、スムーズな会話を実現しました。この「会話のキャッチボール」ができるようになったことが、面接合格の決定的なポイントとなりました。

(3) これからの就活に向けたアドバイス：

私からのアドバイスは2つあります。「自己分析」と「企業研究」の二点です。

まず、「自己分析」は就職活動の礎です。自分の性格、強み、弱み、そして何よりも自分が真に望んでいることを深く理解することが重要です。ですので、就職支援担当教員などに相談しながら自己分析を進めてください。次に、「企業研究」です。自己分析を終えた上で、企業研究に励むことが不可欠です。自分の価値観やキャリア目標に合致する企業を見つけることは、就職活動成功の鍵となります。これも就職支援担当教員などに相談しながら進めることで、企業の文化、価値観、ビジョンについて理解でき、どの企業が自分に最適かを判断できるようになります。